

北アルプス日本海広域観光連携会議 平成30年度総会次第

平成30年5月15日（火）16時～
ヒスイ王国館

1 開会

2 挨拶

北アルプス日本海広域観光連携会議	会長	糸魚川市長	米田	徹
	副会長	小谷村長	松本	久志
	副会長	上越市長	村山	秀幸（代理）
	副会長	白馬村長	下川	正剛（代理）
	副会長	朝日町長	笹原	靖直（代理）
	副会長	大町市長	牛越	徹（代理）

3 議事

総会議案

- (1) 第1号議案 平成29年度事業報告について
- (2) 第2号議案 平成29年度収入支出決算について
- (3) 第3号議案 平成30年度事業計画（案）について
- (4) 第4号議案 平成30年度収入支出予算（案）について
- (5) 第5号議案 規約の改正について

4 その他

5 閉会

北アルプス日本海広域観光連携会議総会 出席者名簿

区分	団体名	所属	職名	氏名	総会 16:00~	交流会 17:15~
市町村	糸魚川市		市長	米田 徹	○	○
		産業部	部長	見邊 太	○	○
		産業部商工観光課	課長	大嶋 利幸	○	○
			課長補佐	山本 喜八郎	○	○
			主査	中村 真義	○	×
	上越市		副市長	土橋 均	○	○
		産業観光部観光振興課	係長	五十嵐 雄一	○	○
	大町市	産業観光部	部長	竹村 静哉	○	○
	白馬村		副村長	太田 文敏	○	○
		観光課	主任	堀米 拓実	○	○
	小谷村		村長	松本 久志	○	○
観光振興課		課長	横澤 勲	○	○	
朝日町		副町長	山崎 富士夫	○	○	
	商工観光課	課長	住吉 雅人	○	○	
国県	新潟県 糸魚川地域振興局		局長	浦部 清和	○	○
		企画振興部地域振興課	課長	野神 直人	○	○
	長野県 北アルプス地域振興局		局長	中村 正人	×	×
		商工観光課	課長	早川 政宏	×	×
観光団体	糸魚川市観光協会		会長	山下 建夫	○	○
			事務局長	佐々木 繁雄	○	○
			事務員	後藤 陽子	○	○
	公益社団法人 上越観光コンベンション協会		事務局長	南 博幸	○	○
	大町市観光協会		専務理事	小松 令子	○	○
	一般社団法人白馬村観光局		事務局次長	佐藤 裕二	○	○
	一般社団法人 小谷村観光連盟		事務局長	菊原 昭一	○	○
朝日町観光協会		事務局長	平木 利明	×	×	
商工団体	糸魚川商工会議所		会頭	猪又 史博	○	○
		総務課	課長	野本 宏一	○	○
	能生商工会		会長	大貫 慶一	○	○
	青海町商工会		会長	平野 拓二	×	×
	上越商工会議所		企画政策担当係長	秋山 裕樹	○	×
	大町商工会議所		専務理事	宮坂 佳宏	○	○
	白馬商工会		事務局長	松井 照隆	○	○
	小谷村商工会		会長	石田 憲明	○	○
朝日町商工会		事務局長	小林 光義	○	×	
交通事業者	西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社	北陸広域鉄道部	大糸線担当部長	谷野 公春	○	×
	えちごトキめき鉄道株式会社		取締役営業部長	石黒 孝良	○	○
	糸魚川バス株式会社	業務課	課長	和田 直樹	○	○
	頸城自動車株式会社	観光部	部長	鈴木 陽一	○	○
	アルピコ交通株式会社	長野支社	支社長	洞 信夫	○	○
長野支社白馬営業所		所長	津山 健次	○	○	

平成 30 年度
北アルプス日本海広域観光連携会議

通常総会資料



日 時 平成 30 年 5 月 15 日

会 場 ヒ ス イ 王 国 館

目 次

第1号議案	平成29年度事業報告について	3 ページ
第2号議案	平成29年度収入支出決算について	11 ページ
第3号議案	平成30年度事業計画（案）について	13 ページ
第4号議案	平成30年度収入支出予算（案）について	21 ページ
第5号議案	規約の改正について	22 ページ
参考資料	構成団体名簿	
	役員名簿	
	幹事会・専門委員会名簿	
	連携会議規約	
	連携会議行動計画	

平成29年度 事業報告

平成29年4月～30年3月

1 会議の開催

(1) 広域観光連携専門委員会

具体的な事業計画や実施を担う委員会として4回開催した。

- ・ 第1回 広域観光連携専門委員会（平成29年4月26日開催）
- ・ 第2回 広域観光連携専門委員会（平成29年8月1日開催）
- ・ 第3回 広域観光連携専門委員会（平成29年10月24日開催）
- ・ 第4回 広域観光連携専門委員会（平成30年2月15日開催）

(2) 幹事会

連携会議の円滑な運営を補助することを目的に1回開催した。

- ・ 第1回 幹事会（平成30年3月23日開催）

2 平成29年度 of 取組

(1) 訪日プロモーション地方連携事業（旧ビジットジャパン地方連携事業）

- ・ 外国人旅行者の訪日促進を図る観光庁による戦略的プロモーション事業。地域の提案を国が採択し、国と地域で連携して実施するものであり、サイクルツーリズムをテーマとした台湾からの誘客を図ることを目的に実施。

① 台湾メディア・旅行会社招請事業

【目的】 「海」「溪谷」「北アルプス」の豊かな自然資源等を活用したサイクルコースをプロモーションすることにより、サイクリングを主な目的とした台湾人旅行者の増加を図る。

【実施概要】 4月10日(月)～13日(木) 3泊4日 旅行会社4社4人
 7月20日(木)～24日(月) 4泊5日 旅行会社3社3人、
 ブロガー6人(フォロワー数264,520人)
 9月29日(金)～10月2日(月) 3泊4日
 ブロガー5人(フォロワー数32,068人)

【行程】 ・4月10日(月)～13日(木)
 (1日目) <朝日町・上越市>
 富山空港着==舟川の桜並木とチューリップ-ヒスイ海岸-
 岩の原ワイナリー-高田城観桜会-キューピットバレイ (宿泊)

(2日目) <上越市・糸魚川市・白馬村>

高田世界館-直江津港-白山神社-弁天岩-サイクリング

マリンドリーム能生(昼食)-谷村美術館-翡翠園-流星花園(宿泊)

(3日目) <白馬村・大町市>

白馬村内サイクリング-青木湖畔(昼食)-仁科三湖サイクリング-

流星花園(宿泊)

(4日目) <上越市視察>

白馬-富山空港



・7月20日(金)~24日(月)メディア(ブロッガー)

(1日目) <白馬村>

富山空港着==流星花園-白馬村内サイクリング-流星花園(宿泊)

(2日目) <小谷村・白馬村>

梅池ヒルクライムコース試走-梅池自然園-梅池フュッテ(昼食)

おびなたの湯-流星花園(宿泊)

(3日目) <白馬村・大町市>

黒菱林道、八方池山荘 サイクリング-青木湖周辺(昼食)-

鹿島槍(ウェルカムイベント)-倉下の湯-流星花園(宿泊)

(4日目) <白馬村・大町市>

北アルプス山麓グランフォンド-大町市山岳博物館-国際芸術祭-

王子祭り-流星花園(宿泊)

(5日目) <糸魚川市>

糸魚川駅ジオパル==富山空港



・7月20日(木)~24日(月)旅行会社

(1日目) <朝日町>

富山空港着==立山黒部アルペンルート-立山プリンスホテル(宿泊)

(2日目) <大町市・小谷村>

大町ダム-梅池ヒルクライムコース試走-梅池自然園-

梅池フュッテ(昼食)-アルプスホテル(宿泊)

(3日目) <白馬村・大町市>

黒菱林道、八方池山荘 サイクリング-青木湖周辺(昼食)-

鹿島槍(ウェルカムイベント)-倉下の湯-流星花園(宿泊)

(4日目) <白馬村・大町市>

北アルプス山麓グランフォンド-大町市山岳博物館-国際芸術祭-

王子祭り-流星花園(宿泊)

(5日目) <糸魚川市>

糸魚川駅ジオパル==富山空港

・ 9月29日（金）～10月2日（月） メディア（ブロガー）

（1日目）＜朝日町＞

富山空港着＝ヒスイ海岸-富山湾岸サイクリングコース試走-
ばたばた茶体験館-ホテル小川（宿泊）

（2日目）＜上越市・糸魚川市＞

高田公園-雁木通り-春日山-白山神社-居多ヶ浜-久比岐自転車道-
うみてらす名立-マリンドリーム能生-白山神社-弁天岩-
竹春館（宿泊）

（3日目）＜糸魚川市＞

グランfond糸魚川-竹春館（宿泊）

（4日目）＜糸魚川市＞

糸魚川駅ジオパル＝富山空港



②台湾旅行博出展・セールスコール

【目的】 「海」「溪谷」「北アルプス」の豊かな自然資源等を活用したサイクルコースをプロモーションすることにより、サイクリングを主な目的とした台湾人旅行者の増加を図る。

【実施概要】 5月4日（木）～5月9日（火） 5泊6日

【旅行博出展】 2017TTE台北国際観光博覧会

5月5日（金）～8日（月）

出展国数 18か国

日本国出展 22団体

来場者数 283,256人

ブース来場者 5,000人



【セールスコール】 5月5日（金）～8日（月）

台湾国内サイクルショップ及び関連企業訪問 22社

③プロモーション用ポスター作成事業

言語 繁体語

作成枚数 100部



（2）エージェントモニターツアーの実施

- ・ 北陸新幹線の開業に伴い、関西方面からの誘客促進を図るため、旅行エージェントを招いたモニターツアーを実施。鉄道と絡めた新しい旅を提案した。

- 【 目 的 】
- i) 北陸新幹線に開業に伴い所要時間が大幅に短縮された関西圏からの誘客促進
 - ii) 北陸新幹線糸魚川駅の乗降客の増加
 - iii) 立山黒部アルペンルートの来訪者を当エリア及び北陸新幹線糸魚川駅へ誘導
- 【 実 施 日 】 7月12日(水)～13日(木) 1泊2日
- 【 ツアー名称 】 関西エージェント現地視察
- 【 参 加 者 】 関西方面旅行会社等(主に商品造成担当者)6社6人
- 【 行 程 】 (1日目)
- 糸魚川駅(集合)＝＜大糸線乗車＞＝八方北尾根高原⇒
 姫川温泉「翠泉閣」(宿泊)
- (2日目)
- 高浪の池展望台⇒小滝川ヒスイ峡学習護岸⇒ヒスイ峡展望台⇒
 谷村美術館⇒翡翠園⇒親不知コミュニティロード⇒ピアパーク⇒
 久比岐自転車道⇒能生漁港⇒マリンドリーム能生⇒糸魚川駅(解散)



(3) 冬季シャトルバス運行事業

- ・ 冬季、白馬バレーに滞在する外国人観光客の移動の足として、白馬－糸魚川間をシャトルバスで繋ぎ、エリア内の観光流動の創出を図る。

【事業概要】

■運行スケジュール(期間中の毎週水～金曜日 全11回運行)

平成30年1月10日(水)～2月16日(金)

■運行時間

エコーランド(17:00)＝白馬東急ホテル(17:10)＝八方インフォメーションセンター(17:15)＝白馬山麓ツアーズ(17:20)＝南小谷駅(17:40)＝糸魚川駅(18:30～21:30)＝南小谷駅(22:25)＝白馬山麓ツアーズ(22:35)＝八方インフォメーションセンター(22:40)＝白馬東急ホテル(22:45)＝エコーランド(22:55) ※マイクロバス27人乗り(基本)

■利用料金

片道500円(往復1,000円)

■広報宣伝

チラシの作成・配布、ホームページ掲載、「エッセンシャルガイド」掲出

■運行実績

利用者 140人【日本人客75人・外国人客65人（スウェーデン26・香港13・豪州11・台湾7・マレーシア4・シンガポール2・米国2）】

※平成28年度実績 利用者125人【日本人客87人・外国人客38人】

※平成27年度実績 利用者100人【日本人客44人・外国人客56人】

（4）北陸新幹線系魚川駅利用促進戦略会議

- ・北陸新幹線系魚川駅を利用した周辺市町村への広域的誘客を図るため、誘導方法やそれに関する商品開発を検討する。
- ・平成27年度開催の「北陸新幹線系魚川駅利用促進戦略会議」（構成：西日本旅客鉄道株式会社金沢支社、新潟県、長野県、6市町村）で上がった課題から、北アルプス方面へのシャトルバスを運行し、JR西日本の「JR Snow Resort 2017-2018」商品として提供



「JR系魚川駅—北アルプスエリア連絡バス」

【事業内容】 Snow Resort 商品として、1日1便（往復）系魚川駅—北アルプスエリア間の移動手段を提供（事前申込制）



●行き⇒

大阪発 7:40(サンダーバード5号)
金沢発 10:56(はくたか560号)
系魚川着 11:45

●帰り⇒

系魚川発 17:33(はくたか569号)
金沢発 18:42(サンダーバード46号)
大阪着 21:22

【運行形態】 貸切バス（大型バス定員42人）

【運行日】 平成29年12月15日（金）～平成30年3月26日（月）

【料金】 旅行会社が販売するツアー代に含む（エージェンツ負担：片道1人1,000円）

【利用実績】 1,393人

【運行ルート】

JR糸魚川駅—北アルプスエリア連絡バスの運行行程

運行期間 2017年12月15日(金)～2018年3月26日(月)

時刻表		行き(着時刻)	帰り(発時刻)
停留所の名称 (北陸新幹線 糸魚川駅着発時刻)		はくたか560号(11:45)	はくたか569号(17:33)
1	JR糸魚川駅	12:00	17:00
		15	15
2	JR根知駅	12:15	16:45
		60	60
3	白馬コルチナススキー場ホテルグリーンプラザ白馬	13:15	15:45
		5	5
4	白馬乗鞍温泉スキー場 里見	13:20	15:40
		5	5
5	白馬乗鞍温泉スキー場 白馬アルプスホテル	13:25	15:35
		5	5
6	桐池高原スキー場 総合センター前	13:30	15:30
		5	5
7	落倉 風切地蔵前	13:35	15:25
		5	5
8	岩岳スキー場 ゴンドラ前	13:40	15:20
		5	5
9	八方尾根スキー場 八方インフォメーションセンター	13:45	15:15
		15	15
10	Hakuba47 ウィンタースポーツパーク	14:00	15:00
		10	10
11	白馬五竜スキー場 白馬サンパレーホテル横	14:10	14:50
		5	5
12	白馬五竜スキー場 エスカルプラザ	14:15	14:45
		45	45
13	大町温泉郷ドライブインくろべ路	15:00	14:00

行き:大阪発7:40(サンダーバード5号)ー金沢着10:24 金沢発10:56(はくたか560号)ー糸魚川着11:45

帰り:糸魚川発17:33(はくたか569号)ー金沢着18:24 金沢発18:42(サンダーバード46号)ー大阪着21:22

(5) 鉄道魅力発信事業

- ・大糸線への関心を高めてもらうため、乗車を促すオリジナルグッズを制作、配布することで利用促進と交流人口の拡大を図る。

「思い出のキハ限定 52 限定ストラッププレゼントキャンペーン」

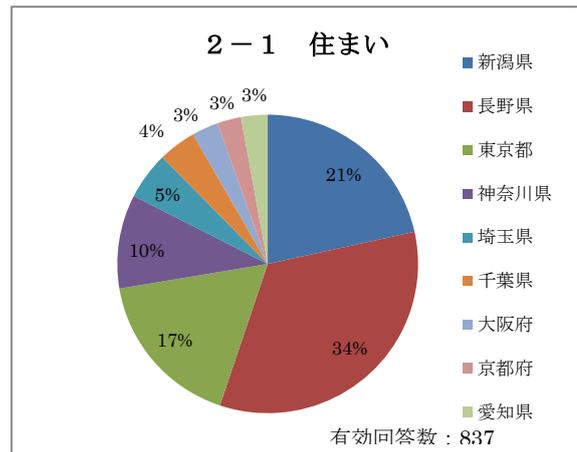
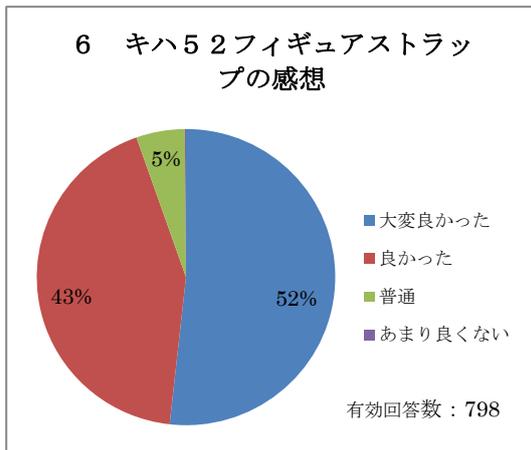
JR大糸線(糸魚川駅～信濃間)に乗車し、指定のスタンプを集めた方を対象にキハ52 フィギュアストラップをプレゼント

- 期間 8月16日(水)～11月30日(木)
- 要件 専用スタンプが押された台紙と糸魚川駅～信濃大町駅間の効果的な乗車券の提示でストラップと交換
- 数量 1,261個(先着順。)
- スタンプ設置場所 糸魚川駅大糸線改札口・白馬駅改札口・信濃大町駅改札口



【アンケートの意見（抜粋）】 ※大糸線に乗って良かったところ

- 景色・景観が素晴らしい。美しい。
- 姫川の激流・清流・美しさを間近に見ながら走る。
- 昭和のまま、ノスタルジーを感じた。
- 都会では味わえない新鮮な旅



（6）カーゴトラック&トレイン

- ・自転車での移動に危険が伴う糸魚川～小谷間を、自転車を貨物トラック便を利用し移動させることでサイクリストが周遊できる環境整備を図り、日本海エリア・北アルプスエリアの相互移動及び大糸線の利用促進を図る。

※サイクルトレインも併せて運行することにより、サイクリストへの利便性の向上と大糸線の利用促進を図る。

■運行時期

9月2日（土）～10月29日（日）までの土日祝日

■運行方法

- ・運輸業者が糸魚川～南小谷間において、朝1往復、夕1往復のカーゴ便を設定し、自転車を目的地まで運送。お客さんは自転車をカーゴ便に預けた後、大糸線に乗車し目的地で自転車を受け取る。事前予約制



【大糸線運行スケジュール】

大町・白馬							
南小谷			9:52	10:04		16:17	16:24
糸魚川			49:52D	49:52D		43:22D	43:12D
直江津			8:52	11:00		15:16	17:21

■利用料金

片道 1,000 円（別途大糸線乗車券が必要）

■広報宣伝

チラシの作成・配布、ホームページ掲載、フェイスブック

■運行実績

利用者 延べ 8 人

※サイクルトレイン

■運行時期

6月3日（土）～10月9日（日）までの土日祝日

■運行方法

自転車での移動に危険を伴う糸魚川から小谷の間を、定期車両に一両増結し、増結した車両に自転車を解体せずに乗車させる。事前予約制

■利用料金

無料（大糸線乗車券が必要）

■運行実績

利用者 延べ 244 人



平成29年度 収入支出決算

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
	6,289,000	6,289,000	0	
1. 負担金	4,000,000	4,000,000	0	糸魚川市
	630,000	630,000	0	上越市
	890,000	890,000	0	大町市
	275,000	275,000	0	白馬村
	94,000	94,000	0	小谷村
	400,000	400,000	0	朝日町
2. 雑収入	150,676	160,050	9,374	総会交流会費、預金利息
3. 繰越金	1,919,324	1,919,324	0	
計	8,359,000	8,368,374	9,374	

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1. 事業費	7,475,000	5,969,063	△ 1,505,937	
広告宣伝	1,000	0	△ 1,000	
広域旅行商品の販売促進	900,000	0	△ 900,000	
訪日プロモーション地方連携事業	3,700,000	3,731,280	31,280	訪日プロモーション地方連携事業
冬季シャトルバス運行事業	400,000	347,662	△ 52,338	
鉄道魅力発信事業	974,000	1,008,761	34,761	思い出のキハ52ストラップ
スノーリゾートシャトルバス	500,000	500,000	0	
カーゴトラック&トレイン事業	800,000	181,360	△ 618,640	
ホームページ管理	200,000	200,000	0	ホームページ管理
2. 連携会議運営費	415,000	389,464	25,536	
会議費	200,000	178,452	△ 21,548	総会、交流会等
事務委託費	200,000	200,000	0	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	15,000	11,012	△ 3,988	消耗品、事務通信費等
3. 予備費	469,000	0	△ 469,000	
予備費	469,000	0	△ 469,000	
計	8,359,000	6,358,527	△ 2,000,473	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。

収入8,368,374円 - 支出6,358,527円 = 差引2,009,847円 は次年度に繰り越す

監査報告書

平成 29 年度収入支出決算について、関係書類及び諸帳簿を監査した結果、適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

平成 30 年 4 月 27 日

監事

大町商工会議所 会頭

坂中正男 

平成 30 年 4 月 27 日

監事

新潟県糸魚川地域振興局 局長

浦部清和 

平成30年度事業計画（案）について

平成30年4月～31年3月

1 事業概要

広域観光連携のメリットを生かしたこれまでの取組を継続させるとともに、北陸新幹線開業効果を生かした事業を実施、加速させていく。

2 事業計画

(1) 会議の開催について

広域観光連携会議専門委員会

具体的な事業計画や実施を担う機関として、事業計画を推進する。

幹事会

重要事項の審議のほか、連携会議の円滑な運営を補助することを目的に開催する。

(2) 平成30年度事業について

- ・誘客宣伝
- ・二次交通
- ・HP管理

※詳細は次ページ以降に掲載

誘客宣伝

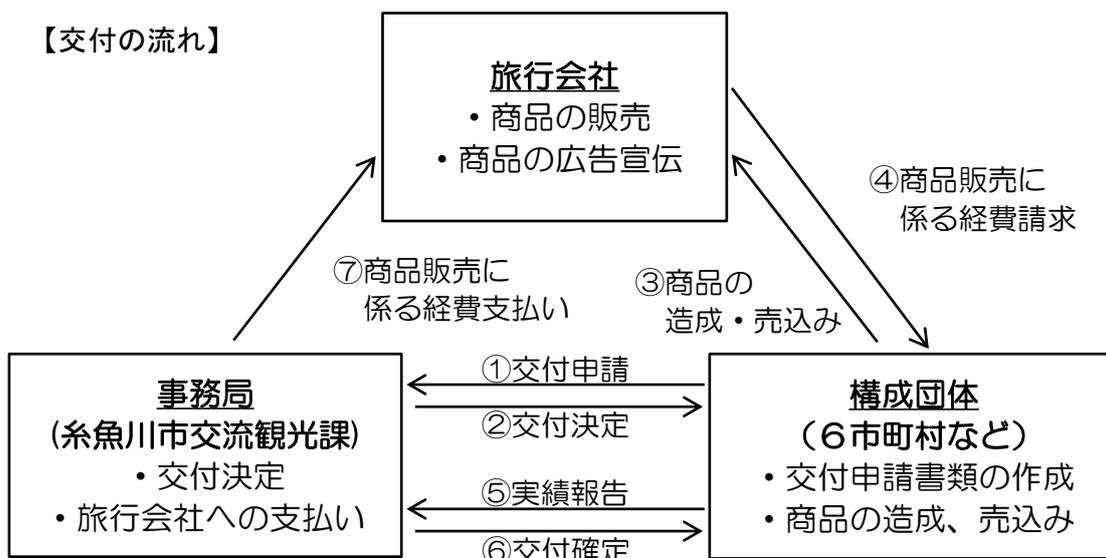
広域旅行商品の販売促進（継続）

1 趣旨

広域旅行商品の造成及び販売を通じて当エリアへの誘客拡大並びに認知度向上を図る。

2 事業計画（案）

- (1) 北陸新幹線糸魚川駅を利用した広域旅行商品の企画造成、または販売に係る費用を負担する。連携会議構成団体が自ら企画するツアー商品のほか、旅行会社が送客を促すための支援としても利用可
例：広告協賛金、ツアー代金への充当、バス代補助等
- (2) 2市町村以上を跨るコース設定を条件に広域エリアでの周遊を図る。



3 目標

エリアの認知度向上
 〃 への誘客拡大

4 スケジュール

2018年度（平成30年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
商品開発・売込	→											

5 事業費（概算）

900,000 円 （150,000円×6市町村）

誘客宣伝

訪日プロモーション地方連携事業（拡充） （旧ビジット・ジャパン地方連携事業）

1 趣旨

平成28年度より実施した当事業により、各市町村でサイクルスポーツへの関心が高まり、環境整備へ向け動き出した。ターゲットである台湾からの照会も入ってきており、プロモーションを継続することで認知度の向上と誘客拡大を図る。

2 事業計画（案）

(1) 旅行会社招請（平成30年6月）

サイクルツアー商品を造成している旅行社をエリア毎の見所の時期に招請し、今後のツアー商品造成に繋げる。4社4名招請予定

◇日本海北アルプエリア及び白馬サイクルフェスタ

【行程案】 4泊5日

6月 富山きときと空港in⇒朝日町⇒ひすい海岸⇒バタバタ茶体験⇒小川温泉
高田公園⇒雁木通り⇒春日山城⇒久比岐自転車道⇒マリンドリーム能生⇒弁天岩・白山神社
ホテル国富アネックス⇒JR大糸線・サイクルトレイン⇒南小谷⇒千国の庄資料館⇒牛方の
白馬岩岳MTBパーク⇒白馬サイクルフェスタ前夜祭⇒白馬サンバレーホテル⇒白馬サイク
フェスタ⇒大町温泉郷⇒白馬⇒富山空港

(2) 旅行博出展及びセールスコール（平成30年5月）

5月に開催される台北国際観光博覧会（TTE）に出展し、エンドユーザーに直接訴えかける。また訪台中、旅行会社やサイクルクラブ（ショップ）を訪問し、認知度向上と誘客支援に結び付ける。

◇台北国際観光博覧会 2018年5月4日～7日開催

◇台湾主要旅行会社 台北10社

(3) メディア招請（平成30年7月・10月）

パワーブロガーでもあるサイクリストをエリア内で実施されるサイクルフェスタに招請。体験談をSNS等を通じて発信してもらう。

◇北アルプス山麓グランフوند（白馬村：7月開催予定）

◇グランフوند糸魚川（糸魚川市：10月開催予定）

◇各大会5名 3泊4日

(4) 印刷物・映像制作

・サイクルショップ及び旅行会社掲出用ポスターの制作

3 目標

エリアの認知度向上

インバウンド受入環境整備

新たな観光ルートの構築

4 スケジュール

2018年度（平成30年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
旅行会社招請			→									
旅行博出展・セールスコール		→										
メディア招請				→			→					
印刷物	→											

5 事業費（概算）

3,900,000 円（国の負担決定額2,600,000円）

内 訳 （ 単 位 ： 千 円）	旅行会社招請	国負担額	北ア負担額	総事業費
	地方：航空券、国内移動費、通訳費、宿泊費等	525	1,455	1,980
	旅行博出展・セールスコール	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：出展費、通訳費、現地移動費 地方：宿泊費、航空券	990	990	1,980
	メディア招請	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：現地移動費、通訳費 地方：宿泊費、航空券	1,088	1,089	2,177
	印刷物・映像制作	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：動画制作費 地方：ポスター制作費、翻訳費		350	350
計	2,603	3,884	6,487	

二次交通

冬季シャトルバス運行事業（継続）

1 趣旨

冬季、白馬バレーに滞在する外国人観光客に、夕食を目的とした交通手段の提供と受入態勢を整えることでエリア内の観光流動を創出する。

2 事業計画（案）

(1) 実施から4年目（H27年度～）となるシーフードシャトルバスの継続実施。継続することで認知度向上を図り、利用客へ日本海まで近いことを心理的に意識づける。

※平成27年度利用実績 100人（日本人客44人・外国人客56人）

※平成28年度利用実績 125人（日本人客87人・外国人客38人）

※平成29年度利用実績 140人（日本人客75人・外国人客65人）

【H29年度の行程】

エコランド(17:00) == 白馬東急ホテル(17:10) == 八方インフォメーションセンター(17:15) == 白馬山麓ツアーズ(17:20) == 南小谷駅(17:40) == 糸魚川駅(18:30~21:30) == 南小谷駅(22:25) == 白馬山麓ツアーズ(22:35) == 八方インフォメーションセンター(22:40) == 白馬東急ホテル(22:45) == エコランド(22:55) ※マイクロバス27人乗り(基本) 糸魚川での滞在は3時間

(2) 事業運営は糸魚川シーフードシャトルバス事業実行委員会（糸魚川青年会議所内）。これまでの振り返りを行うなかで、より実績が上がるよう取組を強化する。



【課題】

- ・ 運行時間
- ・ 宣伝方法
- ・ 利用率向上の取組

3 目標

新たな観光ルート構築
交流人口の拡大

4 スケジュール

2018年度（平成30年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画・調整							→					
運行										→		

5 事業費（概算）

400,000 円

二次交通

鉄道魅力発信事業（拡充）

1 趣旨

在来線の魅力をアピールすることで来訪意欲を創出する。

2 事業計画（案）

(1) 鉄道限定グッズの配布・キャンペーンの実施

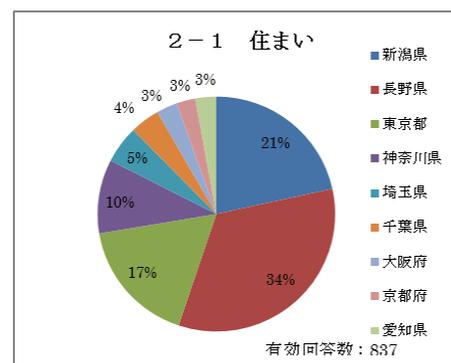
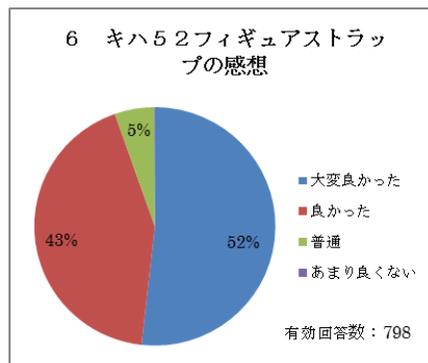
- ・ H28・29年度は、糸魚川～信濃大町間の利用者増を図る取組を行った。
H30年度は、日本海ひすいライン、あいの風鉄道において、取組を行う。
- ・ 日本海ひすいライン、あいの風鉄道の主要な駅にスタンプ台を設置
- ・ ストラップに付属する駅名プレートは3種用意
(直江津・糸魚川・泊)

H30年度実施（案）

「ET-122系ストラッププレゼントキャンペーン」

- ①期間:平成30年8月16日(木)～11月25日(日) ②個数:1,000個(各駅300～400個)
③内容:スタンプ押印済台紙と有効な乗車券の提示でストラップと交換

●H29年度実施データ



(2) 情報発信

- ・ 自治体広報、ホームページ掲載
- ・ 各駅にポスター掲出

3 目標

認知度向上・来訪意欲の創出

4 スケジュール

2018年（平成30年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ストラップ製作		→	→	→	→							
宣伝		→	→	→	→							
キャンペーン実施					→	→	→	→	→			

5 事業費（概算）

1,300,000 円

<内訳>

- ・ フィギュアストラップ製作 900,000円
- ・ チャラシ・ポスター 300,000円
- ・ ロイヤリティ 10,000円
- ・ 鉄道沿線見所チャラシ 90,000円

二次交通

カーゴトラック&トレイン（拡充）

1 趣旨

自転車での移動に危険が伴う糸魚川～小谷間及び糸魚川～越中宮崎間を、自転車を貨物トラック便を利用し移動させることでサイクリストが周遊できる環境整備を図り、日本海エリア・北アルプスエリアの相互移動及び大糸線の利用促進を図る。

サイクルトレインも併せて運行することにより、サイクリストへの利便性の向上と大糸線の利用促進を図る。



2 事業計画（案）

(1) 実施時期

6月23日（土）～10月28日（日）までの土日祝日

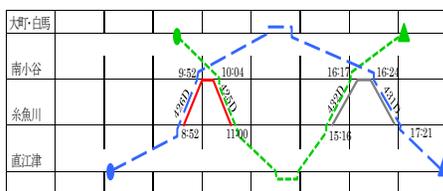
(2) 実施方法

- ・運輸業者が糸魚川～南小谷間、糸魚川～越中宮崎間において、朝1往復、夕1往復のカーゴ便を設定し、自転車を目的地まで運送。お客さんは自転車をカーゴ便に預けた後、大糸線、トキめき鉄道・あいの風鉄道に乗りし目的地で自転車を受け取る。

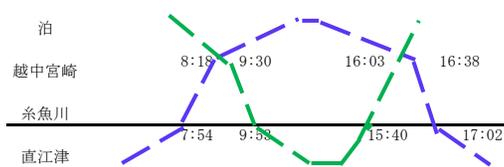
※事前予約制



【大糸線運行スケジュール】



【トキ鉄・あいの風運行スケジュール】



(3) 検討事項

- ・本来であれば旅行商品のパッケージとして販売されるのが望ましい。
- ・そうでない場合、事業を請け負う事業者の選定が課題。予約受付→運 handing 手配→積込・運行→実績報告といった一連の業務管理と乗車切符、カーゴトラック便料金の収受業務が発生

(4) 情報発信

- ・サイクル雑誌等に本取組を含めたサイクル環境を紹介
- ・サイクル団体等を招致→SNS等で情報の拡散

(5) その他

- ・社会実験的な位置づけ。実施体制の構築を含め、さらなる調整が必要

3 目標

JR大糸線、トキめき鉄道・あいの風鉄道の利用促進

4 スケジュール

2018年（平成30年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議・調整	→											
実施			→									

5 事業費（概算）

1,000,000 円

<内訳>

- ・情報発信料（雑誌掲載等） 200,000円
- ・運行支援800,000円

HP管理

ホームページ運営管理（継続）

1 趣旨

魅力あるコンテンツを発信することで連携会議のPRを図る。

2 事業計画（案）

- (1) 連携会議の取組を伝えるほか、イベント開催に合わせた情報更新を行うことで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。
- (2) 広域観光連携を生かした旅行プランを紹介するなど、魅力発信の受け皿とする。
- (3) 各市町村間、観光団体間とのリンクにより露出度の向上を図る。

3 目標

認知度向上

連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2018年度（平成30年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営、管理												→

5 事業費（概算）

200,000 円

<内訳>

- ・管理料（年間） 50,000円
- ・情報更新料 1,200円/1h × 120時間 = 144,000円
- ・その他関連作業 6,000円/年

平成30年度 収入支出予算(案)

議案第4号

【収入の部】

(単位：円)

科 目	H30予算額	H29予算額	比較増減	説 明
	6,289,000	6,289,000	0	
1. 負担金	4,000,000	4,000,000	0	糸魚川市
	630,000	630,000	0	上越市
	890,000	890,000	0	大町市
	275,000	275,000	0	白馬村
	94,000	94,000	0	小谷村
	400,000	400,000	0	朝日町
2. 雑収入	151,153	150,676	477	総会交流会費、預金利息
3. 繰越金	2,009,847	1,919,324	90,523	前年度繰越金
計	8,450,000	8,359,000	91,000	

【支出の部】

科 目	H30予算額	H29予算額	比較増減	説 明
1. 事業費	7,800,000	7,475,000	325,000	
広告宣伝	100,000	1,000	99,000	広域マップ増刷
広域旅行商品の販売促進	900,000	900,000	0	150千円×6団体
訪日プロモーション地方連携事業	3,900,000	3,700,000	200,000	旅行社招請、セールスコール、旅行博出展等
冬季シャトルバス運行事業	400,000	400,000	0	シーフードシャトルバス
鉄道魅力発信事業	1,300,000	974,000	326,000	トキ鉄、あいの風スタンプラリーグッズ
カーゴトラック&トレイン	1,000,000	800,000	200,000	サイクリスト利便性向上、大糸線利用促進
スノーリゾートシャトルバス	0	500,000	△ 500,000	
ホームページ運営管理	200,000	200,000	0	ホームページ管理
2. 連携会議運営費	415,000	415,000	0	
会議費	200,000	200,000	0	総会、交流会等
事務委託費	200,000	200,000	0	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	15,000	15,000	0	消耗品、事務通信費等
3. 予備費	235,000	469,000	△ 234,000	
予備費	235,000	469,000	△ 234,000	
計	8,450,000	8,359,000	91,000	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。

北アルプス日本海広域観光連携会議 規約改正（案）

新旧対照表

新	旧
<p>(事務局)</p> <p>第12条</p> <p>3 事務局は、構成団体のうち県及び市町村の担当課と糸魚川市観光協会が担任し、事務所は、<u>糸魚川市</u>に置く。</p> <p>附 則</p> <p>1 この規約は、平成25年8月5日から施行する。</p> <p>2 平成25年度の会計年度は、第14条の規定にかかわらず、この規約の施行の日から平成26年3月31日までとする。</p> <p>附 則</p> <p>1 この規約は、平成27年5月13日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>1 この規約は、平成27年7月8日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>1 この規約は、平成30年4月1日から施行する。</p>	<p>(事務局)</p> <p>第12条</p> <p>3 事務局は、構成団体のうち県及び市町村の担当課と糸魚川市観光協会が担任し、事務所は、<u>糸魚川市産業部交流観光課</u>に置く。</p> <p>附 則</p> <p>1 この規約は、平成25年8月5日から施行する。</p> <p>2 平成25年度の会計年度は、第14条の規定にかかわらず、この規約の施行の日から平成26年3月31日までとする。</p> <p>附 則</p> <p>1 この規約は、平成27年5月13日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>1 この規約は、平成27年7月8日から施行する。</p>

参 考 資 料

構 成 団 体 名 簿

役 員 名 簿

幹事会・専門委員会名簿

連 携 会 議 規 約

連 携 会 議 行 動 計 画

北アルプス日本海広域観光連携会議 構成団体名簿

区 分	団 体 名	備 考
市町村	新潟県糸魚川市	
	新潟県上越市	
	長野県大町市	
	長野県白馬村	
	長野県小谷村	
	富山県朝日町	
国県	新潟県糸魚川地域振興局	
	長野県北アルプス地域振興局	
観光団体	糸魚川市観光協会	
	公益社団法人上越観光コンベンション協会	
	大町市観光協会	
	一般社団法人白馬村観光局	
	一般社団法人小谷村観光連盟	
	朝日町観光協会	
商工団体	糸魚川商工会議所	
	能生商工会	
	青海町商工会	
	上越商工会議所	
	大町商工会議所	
	白馬商工会	
	小谷村商工会	
	朝日町商工会	
交通事業者	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社	
	えちごトキめき鉄道株式会社	
	糸魚川バス株式会社	
	頸城自動車株式会社	
	アルピコ交通株式会社	

北アルプス日本海広域観光連携会議 役員名簿

役 職	氏 名
会 長	糸魚川市長 米田 徹
副 会 長	上越市長 村山 秀幸
	大町市長 牛越 徹
	白馬村長 下川 正剛
	小谷村長 松本 久志
	朝日町長 笹原 靖直
監 事	新潟県糸魚川地域振興局長 浦部 清和
	大町商工会議所会頭 坂中 正男

平成30年度 幹事会・専門委員会名簿

区分	団体名	所属	職名	氏名	メールアドレス	電話	FAX	備考
幹事会	糸魚川市	産業部	部長	見邊 太		025-552-1511	025-552-7372	
	上越市	産業観光部観光振興課	課長	五十嵐 裕		025-526-5111	025-526-6113	
	大町市	産業観光部観光課	課長	太田 三博	ota.mitsuhiko@city.omachi.nagano.jp	0261-22-0420	0261-23-4660	
	白馬村	観光課	課長	横山 秋一	kanko@vill.hakuba.lg.jp	0261-85-0722	0261-72-7001	
	小谷村	観光振興課	課長	横澤 勲	isao-y@vill.otari.nagano.jp	0261-82-2585	0261-82-2232	
	朝日町	商工観光課	課長	住吉 雅人		0765-83-1100	0765-83-1109	
	新潟県魚川地域振興局	企画振興部地域振興課	課長	野神 直人	nogami.naoto@pref.niigata.lg.jp	025-553-1843	025-552-9944	
	長野県北アルプス地域振興局	商工観光課	課長	早川 政宏	kitachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	0261-23-6523	0261-23-2934	
	糸魚川市観光協会		事務局長	佐々木 繁雄	itoigawa-kanko@ae.wakwak.com	025-555-7344	025-555-7364	
	上越観光コンベンション協会		事務局長	南 博幸	itca@joetsu.ne.jp	025-543-2777	025-545-1113	
	大町市観光協会		専務理事	小松 令子	info@kanko-omachi.gr.jp	0261-22-0190	0261-22-5593	
	白馬村観光局		事務局長	福島 洋次郎	fukushima@po.vill.hakuba.nagano.jp	0261-72-7100	0261-72-6311	
	小谷村観光連盟		事務局長	菊原 昭一	s-kiku@vill.otari.nagano.jp	0261-82-2233	0261-82-2242	
	朝日町観光協会		事務局長	平木 利明	info@asahi-tabi.com	0765-83-2780	0765-83-2781	
	糸魚川商工会議所	総務課	総務課長	野本 宏一	k-nomoto@itoigawa-cci.or.jp	025-552-1225	025-552-8860	
	能生商工会		事務局長	池田 正吾	benten@noumachi-syokukoukai.or.jp	025-566-2244	025-566-4374	
	青海町商工会		事務局長	小竹 和雄	k-kotake@shinsyoren.or.jp	025-562-2352	025-562-5201	
	上越商工会議所		専務理事	宮越 浩司	miyakoshi@joetsu.ne.jp	025-525-1185	025-522-0171	
	大町商工会議所		事務局長	鷲澤 恒夫	occi@deluxe.ocn.ne.jp	0261-22-1890	0261-23-3735	
	白馬商工会		事務局長	松井 照隆	info@hakuba-sci.jp	0261-72-5101	0261-72-6112	
	小谷村商工会		総務主幹	中村 豊	otari@valley.ne.jp	0261-82-2888	0261-82-2889	
	朝日町商工会		事務局長	小林 光義	m-koba@shokoren-toyama.or.jp	0765-83-2280	0765-83-2282	
	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社	北陸広域鉄道部	大系線担当部長	谷野 公春	kimiharu-yano@westjr.co.jp	025-552-0336	025-552-0336	
	えちごトキメキ鉄道株式会社	営業部	取締役営業部長	石黒 孝良	ishiguro.takayoshi@echigo-tokimeki.co.jp	025-546-5520	025-543-8020	
	糸魚川バス株式会社		業務課長	和田 直樹	itobus@amber.plala.or.jp	025-552-0180	025-550-1006	
	頸城自動車株式会社	観光部	観光部長	鈴木 陽一		025-543-3781	025-544-8338	
	アルピコ交通株式会社	白馬営業所	所長	津山 健次	tsuyama.kenji@alpico.co.jp	0261-72-3155	0261-72-5829	
専門委員会	上越市	産業観光部観光振興課	主事	丸田 歩	kanko-shinko@city.joetsu.lg.jp	025-526-5111	025-526-6113	
	大町市	産業観光部観光課	主査	伊藤 正明	masaaki110@city.omachi.nagano.jp	0261-22-0420	0261-23-4660	
	白馬村	観光課	係長	長澤 肇	kanko@vill.hakuba.lg.jp	0261-85-0722	0261-72-7001	
	小谷村	観光振興課	係長	中村 洋隆	nakacha@vill.otari.nagano.jp	0261-82-2585	0261-82-2232	
	朝日町	商工観光課	誘客・プロモーション担当	山崎 渉	yukyaku@int.town.asahi.toyama.jp	0765-83-1100	0765-83-1109	
	新潟県魚川地域振興局	企画振興部地域振興課	地域振興専門員	小野 仁司	ono.hitoshi2@pref.niigata.lg.jp	025-553-1843	025-552-9944	
	長野県北アルプス地域振興局	商工観光課	課長補佐	峯村 高広	minemura-takahiro@pref.nagano.lg.jp	0261-23-6523	0261-23-2934	
	糸魚川市観光協会		事務局長	佐々木 繁雄	itoigawa-kanko@ae.wakwak.com	025-555-7344	025-555-7364	
			事務員	後藤 陽子	itoigawa-kanko@ae.wakwak.com	025-555-7344	025-555-7364	
	上越観光コンベンション協会		係長	福嶋 大	itca-fd@joetsu.ne.jp	025-543-2777	025-545-1113	
	大町市観光協会		専務理事	小松 令子	info@kanko-omachi.gr.jp	0261-22-0190	0261-22-5593	
	白馬村観光局		事務局長	福島 洋次郎	fukushima@po.vill.hakuba.nagano.jp	0261-72-7100	0261-72-6311	
		営業グループ	事務局長次長	佐藤 裕二	sato@po.vill.hakuba.nagano.jp	0261-72-7100	0261-72-6311	
	白馬商工会		主任経営支援員	師岡 和弘	info@hakuba-sci.jp	0261-72-5101	0261-72-6112	
	小谷村観光連盟		事務局長	菊原 昭一	s-kiku@vill.otari.nagano.jp	0261-82-2233	0261-82-2242	
	小谷村商工会		総務主幹	中村 豊	otari@valley.ne.jp	0261-82-2888	0261-82-2889	
朝日町観光協会		事務局長	平木 利明	info@asahi-tabe.com	0765-83-2780	0765-83-2781		
事務局	糸魚川市	産業部商工観光課	課長	大嶋 利幸	toshiyuki.oosima@city.itoigawa.lg.jp	025-552-1511	025-552-7372	
			課長補佐	山本 喜八郎	kihachiro.yamamoto@city.itoigawa.lg.jp	025-552-1511	025-552-7372	
			係長	小竹 貴志	takashi.otake@city.itoigawa.lg.jp	025-552-1511	025-552-7372	
			主査	中村 真義	masaki.nakamura@city.itoigawa.lg.jp	025-552-1511	025-552-7372	

北アルプス日本海広域観光連携会議規約

第1章 総則

(名称)

第1条 本会議は、北アルプス日本海広域観光連携会議（以下「連携会議」という。）と称する。

(目的)

第2条 連携会議は、北陸新幹線糸魚川駅を中心とした周辺市町村及び関係団体との広域観光連携を推進するため、北アルプス日本海広域観光連携行動計画（以下「行動計画」という。）に登載する取組の推進、評価及び検証並びに計画の見直しを行うとともに、連携会議構成団体間の連絡調整等を円滑に行うことにより、広域観光連携を総合的かつ計画的に実施することを目的とする。

第2章 組織等

(組織)

第3条 連携会議は、別表に掲げる団体をもって組織する。

(役員)

第4条 連携会議に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 監事 2名

2 役員は、総会において決定する。

(役員職務)

第5条 会長は、連携会議を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- 3 監事は、連携会議の会計を監査し、その結果を総会において報告する。

第3章 総会

(総会)

第6条 総会は、次の事項を議決する。

- (1) 行動計画及び規約の制定又は変更に関すること。
- (2) 事業計画に関すること。
- (3) 収入支出予算及び決算に関すること。
- (4) 役員を選任に関すること。
- (5) その他会長が必要と認める事項に関すること。

2 総会は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

(専決処分)

第7条 会長は、総会を招集する時間的猶予がないときは、前条第1項各号に掲げる事項について専決することができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、次の総会に報告し、その承認を得なければならない。

第4章 幹事会

(幹事会)

第8条 連携会議の目的を円滑に遂行するため、幹事会を設置する。

2 幹事会は、連携会議の構成団体からの推薦する者により組織する。

3 幹事会は、次に掲げる活動を行う。

- (1) 連携会議の円滑な運営の補助
- (2) 行動計画に基づく事業の重点化に関する協議
- (3) 専門委員会の連絡調整

第5章 専門委員会

(専門委員会)

第9条 連携会議は、専門的な事項を検討し、推進するため、専門委員会（以下「委員会」という。）を設置することができる。

2 委員会は、連携会議の要請により必要に応じて組織する。

3 委員会の委員は、検討する事項により幹事会で協議し、関係する団体からの推薦により決定する。

(委員長等)

第10条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選による。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けたとき、又は委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(委員会の会議)

第11条 委員長は、委員会を招集し、その会議の座長となる。

2 座長は、必要があると認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。

第6章 事務局

(事務局)

第12条 連携会議、幹事会、委員会等の会務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に事務局長及び事務局次長を置き、会長が任命する。
- 3 事務局は、構成団体のうち県及び市町村の担当課と糸魚川市観光協会が担任し、事務所は、糸魚川市に置く。

第7章 会 計

(会計)

第13条 連携会議の経費は、負担金、補助金、寄付金、協賛金その他の収入をもって充てる。

- 2 連携会議の会計は、糸魚川市財務規則に準拠し、糸魚川市財務規則のうち課長専決以下は事務局長の、それ以外は会長の決裁により、事務局長が執行する。
- 3 通帳の管理及び現金の出納については、糸魚川市会計管理者が行うものとする。
- 4 予算の管理は、事務所で行い、監事の監査を受けるものとする。

(会計年度)

第14条 連携会議の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第8章 解 散

(解散)

第15条 連携会議は、第2条に掲げる目的を達成したときに解散する。

第9章 補 足

(補足)

第16条 この規約に定めるもののほか、連携会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、平成25年8月5日から施行する。
- 2 平成25年度の会計年度は、第14条の規定にかかわらず、この規約の施行の日から平成26年3月31日までとする。

附 則

- 1 この規約は、平成27年5月13日から施行する。

附 則

- 1 この規約は、平成27年7月8日から施行する。

附 則

- 1 この規約は、平成30年4月1日から施行する。

北アルプス日本海広域観光連携会議 行動計画

北アルプス日本海広域観光連携会議は、北陸新幹線糸魚川駅を中心とした周辺市町村及び関係団体との広域観光連携を推進するため、次に掲げる事業に取り組む。

- 1 広域観光連携の推進
 - 周遊型広域観光商品の開発と販売促進活動
 - 祭りやイベントの広域連携
 - 効果測定等の調査
- 2 交通事業者との連携
 - 二次交通の充実と連携
 - イベント列車などの運行
- 3 連携した情報発信
 - ポスターや観光パンフなど広域観光情報の発信
 - 誘客PR、観光物産イベント等への共同参加
- 4 連携した新幹線開業イベントの開催
 - 開業イベントの情報交換
 - 連携したイベントの開催
- 5 新幹線糸魚川駅の利便性向上
 - 新幹線糸魚川駅の近隣市町村専用の駐車場確保
 - JR大糸線、並行在来線等の利便性の向上
 - アクセス道路の整備促進
- 6 その他新幹線開業の効果を活かすことができると考えられる連携事業